

電動ファン付き、新作ウエア発売 首元の風量アップ[°]

2020年05月30日 09:16

住宅用基礎関連資材製造販売のエヌ・エス・ピー（岐阜県中津川市苗木）は、首元を抜ける風量が従来よりもアップした電動ファン付きウエアの新作を発売した。建築現場などでの利用を想定している。

同社は熱中症対策のために2012年から電動ファン付きウエアの取り扱いを始め、14年からオリジナル製品の開発を始めた。主に資材納入先の大手ハウスメーカーを販路に持つ。

新作は前屈みの姿勢で行う作業など体の態勢に関係なく勢いよく風が流れるように背中と肩に取り付けたスパーサーを工夫した。スパーサーには円筒状の発泡ポリエチレン素材を採用することで、風通りが良くなるように隙間を作り、同社従来製品の約5倍の風速の風が首元を流れるようになった。服の上からフルハーネス安全帯を装着しても風の流れを保てるという。裏地には遮熱性に優れたスーパーチタンコーティングを施し、炎天下での作業をサポートしている。

今年から電動ファン付きのウエアを「Nクールウエア」として展開し、製品の認知度を高めていく。担当者は「どんな態勢になっても風が良く通るようになった。着心地は断然違うと思う」と話している。



従来よりも電動ファンの風が通り抜けやすくなったNクールウエア＝中津川市苗木、エヌ・エス・ピー